

平成20年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	三国湊 緑のリレープロジェクト
対象地域	坂井市三国町
活動概要	<p>三国湊は、九頭竜川水系の河口に位置し、海(日本海及び景勝東尋坊等の海岸線・漁師集落)、里山(丘陵地・農家集落)、川(九頭竜川)、旧市街地(北前船の要港として栄えた町並み)から成る、豊かな自然と歴史文化が凝縮された小さな湊町である。</p> <p>日本海沿岸の風光明媚な風景を長年演出し、三国湊の自然景観・地元住民の愛着の象徴ともいえる松林が、海岸線及び内陸部問わず、松枯れのためほぼ全滅している。</p> <p>これにより、枯れ松処理等の費用や危険性が増したのに対し、得られる経済的利益が小さいことや土地所有者の高齢化、兼業農家の増加、相続者の熱意の無さなどにより、里山の荒廃も進んでおり、ゴミの不法投棄にもつながるといふ悪循環を生み出している。</p> <p>このため、1997年のタンカー重油流出事故の際に高く評価された「三国方式」(行政・企業・地元住民・ボランティアによる協働体制及びボランティアセンターの運営)を、三国湊の里山再生で再度活用していこうと、市有地・私有地を活動フィールドとして借り上げての里山健康診断・ランドデザインづくり・整備の実践を行ってきた。</p> <p>今後、里山整備を一層進め、新たな景観を創造しながら、地元住民やボランティアによる新たな公としての意識の継承・発展に取り組み、地元とボランティア(町外者・都市住民・学生・団塊の世代)との交流による、総合的な地域の活性化とまちづくりのボトムアップを模索・調査・実践・普及していく事を図る。</p>
今年度の主な取組	<p>(1)ボランティアが長期滞在できるしくみ、持続的な活動を行える体制などの調査研究</p> <p>(2)ボランティア受入を含んだ実践活動・活動資金調達のためのしくみ・体制づくりの検討</p> <p>(3)ボランティア等の受入準備に向けた地元住民との合意形成等</p> <p>(4)三国湊の他、九頭竜川流域の各種団体や行政と緩やかなネットワーク形成及び活動報告シンポジウムの開催</p> <p>(5)今後の課題整理</p>

活動結果	<p>里山保全の必要性や枯れ松についての認知度があまり高くない地元住民も少なくなかったが、徐々に活動の趣旨を理解してもらいつつあり、今後、地元での合意形成を進めていく上での第一歩となった。</p> <p>ボランティア受け入れ実験の結果から、社会人と学生ではボランティア活動に求めるものが違うことが明らかとなった。社会人の参加者は、活動の明瞭な目的・意義・効果を求めるのに対し、学生の参加者は体験の多様さや様々な自分の人生の可能性を広げることを期待しており、それに対応した広く・浅く体験できる選択肢の多いプログラムを検討する必要があることが分かった。また、参加者が里山だけでなく、三国湊のまちづくりに参加しているという思い(自覚)を持ってもらえ、今後リピーターに繋がる基礎をつくる事ができた。</p>
当初予想していなかった効果	<p>ボランティア受入実験において、地元住民の参加者が三国の魅力を町外参加者に積極的に伝えることなどで想定以上に交流が深められた。</p> <p>県・企業・NPOで取り組むカーボンオフセット協議会へ参画することになり、県を通じての活動資金の提供を受けられる可能性ができた。</p>
実施状況(写真)	 <p>【写真】ボランティア受け入れ実験による枯れ松伐倒実践活動の様子</p>
応募団体名	特定非営利活動法人三国湊魅力づくりPJ
リンク	<a href="http://www.mikuni-minato.jp/midorelay">www.mikuni-minato.jp/midorelay</a>
部局／担当者名	
連絡先	midorelay@mikuni-minato.jp tel:0776-82-2157 fax:0776-81-3225
推薦市町村名	坂井市